

# 広報せとうち11

令和2年  
月号

絆で創る、魅力あふれる豊かな町づくり | みんなで早寝、早起き、ラジオ体操、朝ごはん！

## 11月の特集 瀬戸内町の夢追い人 — Vol.3 —



10月12日「海底清掃」にて  
写真提供：瀬戸内町海を守る会

### — Pick up ニュース —

◦ 「ドローン活用に向けた協定式」がありました！



↑動画はこちらから  
(町公式YouTubeへ)

### — もくじ — information —

◦ 教育コラム「めばえ」	04
◦ 11月のお知らせ	05
◦ まちのできごと	18
◦ 古高だより	20
◦ 11月休日当番医のお知らせ	21
◦ 今月の独り言	22
『幸せはいつもこれからやってくる』	22

### まちの人口と世帯 | 住民基本台帳 令和2年9月末

人口 | 合計  
8,819 人 (前月比: - 5)

人口 | 男  
4,331 人 (前月比: + 4)

人口 | 女  
4,488 人 (前月比: - 9)

世帯数 | 合計  
5,251 世帯 (前月比: + 6)

今月の表紙 | 「瀬戸内町海を守る会」による海底清掃の様子

特集

瀬戸内町の  
夢追人  
Vol.3

人生で一番幸せな瞬間は、  
いつもこれからやってくる。



名桜大学1年

沖 千翔

OKI Sensho

「自分の人生の当事者である」という  
自覚をもって後悔しない道を。

**瀬** 戸内町の夢追人」第3弾となる  
今回は、名桜大学1年生の沖千翔

さんに、沖繩での生活や、コロナ禍にお  
ける学校生活への影響などを赤裸々に話  
していただきました。それでは、インタ  
ビュー特集をご覧ください！

—まず最初に自己紹介をお願いします。

沖…名桜大学人間健康学部1年の沖千翔  
です。出身は嘉穂集落です。大学では陸  
上競技部に所属していて、1000m走が  
専門です。趣味は映画鑑賞で特技は料理  
です。

—ズバリ、千翔さんの「夢」はなんで  
すか？

沖…僕の夢は2つあります。1つ目は、  
今やっている1000mで10秒7台を出す  
ことです。今年は怪我や受験があり、冬  
に練習を積めていなかったのでシーズン  
ベストは11秒4でしたが、大学の4年間  
で焦らずに練習を積み、大台の10秒7台  
を出したいと思っています。目の前の目  
標としては、来年には10秒台で走るこ  
とを目標にしています。そして、2つ目は  
保健体育の教師になることです。そのた  
めに今は、資格の取得に取り組んだり、  
大学での勉強、授業に励んでいます。

—大学へ入学して半年経ちますが、学校  
生活には慣れましたか？  
沖…もうかなり慣れました。対面の授業

が始まって早々に慣れることができました。

—ホームシックは大丈夫でしたか？(笑)

沖…ホームシックにはなりませんでした。  
初めのうちは沖繩旅行に来ているような感  
覚でかなり浮かれている部分がありました  
(笑) 沖繩へ来て早々に友達もできました  
し、寂しさはほとんど感じませんでした。

—新型コロナウイルスは、沖さんの学校生  
活にどのような影響を与えていますか？

沖…学校生活には影響が2つありました。  
1つ目は大学の授業の開始が1ヶ月遅れて  
5月からのスタートとなったことです。夏  
休みも1ヶ月短縮されました。その影響で  
奄美の友達と帰省のタイミングが合いま  
せませんでした。2つ目は授業がオンラインに  
なったことです。その影響で課題提出が増  
え、自ずとパソコンを使う機会も増えたの  
で、ICT能力はかなり向上したと思いま



入学してすぐに友達もできた



- 1) オンライン授業の様子
- 2) 練習では日々、仲間と競い合う
- 3) インタビューでは終始、素敵な笑顔を見せてくれた
- 4) レースの様子（一番右が沖選手）

— 大学生となり親元を離れての生活では炊事洗濯などの火事もあると思います。やはり勉強・部活・家事の両立は大変ですか？

沖：非常に大変です。親元を離れての生活を甘く見ていました（笑）部活後やアルバイト後は家事が億劫になります。仕事・家事・子育てをこなしていた親には本当に頭が下がります。

— ご家族、両親へ何か伝えたいメッセージはありますか？

沖：お金の面や仕送りなど、いつもありがとうございます。冬に帰省した際は、家事など手伝いたいと思います。初めて稼いだバイト代でいい値段のする部屋着をプレゼントするのでぜひ使ってくださいと言いたいです（笑）

— 高校生の時は、快速で有名だった千翔さん。陸上の調子はどうでしょう？

沖：大学に入ってから怪我が多くあまり走れていないのですが、陸上はまだまだ初心者なので焦らずに1年生の間は基礎的な部分をしっかりと鍛えます。来年は今年より大会が多

くなり自己ベストを出せる機会が増えると思うので、練習を積んでいい成績を出したいと思っています。

— 短距離走が速くなるために必要なことは何ですか？

沖：練習はもちろんですが、しっかりと休養をとることと食事がとても大切だと思います。ですが、中高生ほど栄養と休養の部分が抜けがちだと思います。そういった練習以外の部分、栄養学や身体のケアの部分は勉強して気をつけています。

— 島を離れてみて、千翔さんが感じる「島の良さ」はどこにあるでしょう？

沖：奄美と沖縄なので似てるように思いますが、やはり沖縄と比べると奄美はのどかです。そこに島の魅力を感じます。沖縄に来て初めに感じたのは夜でも交通量が多いということ。また、沖縄は観光客向けに自然が人工的に作られてるように感じますが、奄美の自然は手付かずだと感じました。早く大学の友達を奄美に連れていきたいです。

— 古高OBとして在校生へ進路を決めるうえでアドバイスをお願いします。



これからも沖縄で「夢」を追いつける

沖：進路を決めるまでの時間があまり無く焦っていたとしても、決して焦らず、しっかりと自分と向き合って「自分の人生の当事者である」という自覚を持ちながら後悔しない道を選んでください。

— 最後に一言、今後の抱負をお願いします！

沖：大学の4年間で100m 10秒7というタイムを出すこと。それから、体育教師になるという夢を叶えるために日々、全力疾走していきます。「人生で一番幸せな瞬間はいつもこれからやってくる」。毎日自分史上最強を更新していきます！

— ありがとうございます。今後の活躍も応援しています！

おき せんしょう  
**Profile: 沖 千翔**

2002年2月9日生まれ。幼いころから活発で好奇心旺盛。高校時はバスケットボールに励んでいたが、2年時に桐生祥秀選手が日本人初の9秒台をマークしたことに衝撃を受け、短距離を始めたことが陸上との出会い。高校には陸上部がなかったので、ネットや本などから情報を集め独学で研究。現在は沖縄の名桜大学に通う1年生。趣味は映画鑑賞。特技は料理。将来の夢は体育教師。昨年（2019年）には瀬戸内町のふるさとCMの主役も務めた。（CM作品は瀬戸内町公式YouTubeで視聴できます）

↑ YouTube動画を視聴できます

2020年11月

第252号

# めばえ

社会福祉法人幸喜会  
児童発達支援事業所ここ

昇 靖代

## ムーブメント教育・療法について

先日、奄美出身の教育学者、當島茂登先生のムーブメント教育を見学し、お話を聴く機会がありました。教育学者というお堅い肩書きからは感じられない、気さくでユーモアのあるお人柄です。子ども達はキラキラした眼で、1時間以上先生と次々に展開される遊びに夢中になっていました。

ムーブメント教育とは、子どもの自主性、自発性を尊重し、子ども自身が遊具、場、音楽などの環境を活用しながら、動くことを学び、動きを通して「からだ（動くこと）」と「あたま（考えること）」と「こころ（感じること）」の行動全体に関わる調和のとれた発達を援助することです。

「感覚と運動が統合された時に笑顔になる。」と先生に言われました。

「出来ないことを出来るようにすることは、子どもを追い詰めること。出来るところを伸ばす教育が必要。」また、「アイメッセージが大事。アイは私ですよ。」

目からうろこの言葉が次々と心に響きます。

～アメリカインディアンの「子育て四訓」～

乳飲み子からは肌を離すな  
幼児は肌を離して手を離すな  
少年は手を離して目を離すな  
青年は目を離して心を離すな



自立へつながる子育てにどう向き合うべきかが示されています。

子ども達の心にアイメッセージを送り、子ども達が一人ひとりの力に合わせて、すくすくと成長することを家族と地域の皆さんと共に見守っていきたいものです。

12月のご案内



潤生会保育園です。



担当者

教育委員会社会教育課生涯学習係  
岩永由希子 ☎0997-72-2905

